

資料2-2-1-2 白鳳丸航海

航海番号	航海日程	日数	研究海域	寄港地・寄港期間	主席研究員	所属	研究主題	研究者数
<b>● 1992年度</b>								
KH-92-2	1992.5.20~6.26	38	伊豆小笠原孤島弧海溝系	横須賀 6.3~6.9	平 朝彦	東京大学海洋研究所	伊豆・小笠原孤島海溝系の地殻構造の研究	31
KH-92-3	7.17~8.10	25	南海トラフ東部及び千島海溝西端部(納沙布岬沖)	釧路 7.25~7.29	小林 和男	東京大学海洋研究所	海溝・トラフの海底微細構造の研究(KAIKO-TOKAI計画ODP)	32
KH-92-4	9.16~10.27	42	西太平洋	オークランド 10.8~10.13 ケアンズ 10.26	野崎 義行	東京大学海洋研究所	西太平洋におけるオーシャンフラックスに関わる地球化学的過程の研究	37
KH-92-5	10.28~12.7	41	西太平洋熱帯海域	ケアンズ 10.31 ラバウル 11.7~11.10	浅井 富雄	東京大学海洋研究所	西太平洋熱帯海域における大気・海洋相互作用に関する研究(TOGA/COARE, WESTPAC)	49
KH-93-1	1993.1.22~3.4	42	中部北太平洋	ホノルル 2.8~2.14	沼地 健一	東京大学海洋研究所	中部北太平洋域の海山の生物群集の研究(WESTPAC)	32
<b>● 1993年度</b>								
KH-93-2	1993.5.13~6.18	37	北太平洋亜熱帯・亜寒帯	函館 5.30~6.4	平 啓介	東京大学海洋研究所	北太平洋の亜熱帯・亜寒帯循環域におけるエネルギー、運動量と物質の輸送過程の研究(WOCE, WESTPAC)	38
KH-93-3	7.8~9.17	72	インド洋	シンガポール 7.17~7.21 ポートルイス 8.10~8.14 ペナン 9.2~9.6	玉木 賢策	東京大学海洋研究所	インド洋中央海嶺の総合地球科学的研究(InterRidge, ODP, WESTPAC)	47
KH-93-4	10.14~12.3	51	西部太平洋中・低緯度海域	ホノルル 11.2~11.9	小池 勲夫	東京大学海洋研究所	西部太平洋中・低緯度海域における生物活動と物質循環に関する研究	40
KH-94-1	1994.2.24~3.22	27	四国沖~房総沖の黒潮海域	横浜 3.8~3.12	青木 一郎	東京大学海洋研究所	多獲性魚類の再生産と加入機構に関する研究	33
<b>● 1994年度</b>								
KH-94-2	1994.5.17~7.7	52	本州東方及び南方海域	塩釜 5.27~5.31 横浜 6.11~6.16	杉本 隆成	東京大学海洋研究所	多獲性魚類及びウナギの再生産と加入機構に関する研究	54
KH-94-3	9.2~10.21	50	西部北太平洋とその隣接海域	横浜 9.23~10.2	平 啓介 野崎 義行	東京大学海洋研究所	海溝域を中心とした物質循環及び海水流動に関する研究(WESTPAC)	64
KH-94-4	11.22~95.2.14	85	南大洋太平洋区	リトルトン 12.9~12.13 ホバート 1.4~1.9 シドニー 1.28~2.1	川口 弘一	東京大学海洋研究所	南大洋の生物生産過程と物質循環過程の総合的研究(SO-GLOBEC, SO-JGOFs)	57
<b>● 1995年度</b>								
KH-95-1	1995.5.12~6.12	32	日本南方及び東方海域	鹿児島 5.21~5.26	平 啓介	東京大学海洋研究所	黒潮の流量・熱輸送と伊豆海嶺東方での流れと水塊の研究	32
KH-95-2	7.7~9.27	83	南西諸島・マリアナ・ミクロネシア・メラネシア海域	アブラ 7.26~7.30 スバ 8.18~8.24 アブラ 9.12~9.15	大和田紘一	東京大学海洋研究所	太平洋熱帯・亜熱帯海域における生物群集及びウナギの回遊生態に関する研究	61
KH-95-3	10.19~11.24	37	北西太平洋	函館 11.3~11.8	小池 勲夫	東京大学海洋研究所	北西太平洋における生元素の循環と生物活動に関する研究(WESTPAC)	49
KH-96-1	1996.2.23~3.21	28	南海トラフ	清水 3.8~3.14	瀬川 爾朗	東京大学海洋研究所	南海トラフ及び銭州海嶺における地球科学(物理, 化学, 生物)的研究(KAIKO-TOKAI, ODP)	49
<b>● 1996年度</b>								
KH-96-2	1996.5.21~7.1	42	本州東方・南方海域、南海トラフ	横浜 6.7~6.14 坂出 6.28~6.29	青木 一郎	東京大学海洋研究所	海洋生態系のダイナミックスの研究及び深海トラフの地球化学的研究	60
KH-96-3	8.2~9.3	33	日本海溝、シャツキー海台、黒潮続流域、相模湾	釜石 8.18~8.23	瀬川 爾朗	東京大学海洋研究所	日本海溝、シャツキー海台を含む海域における地球科学的、海洋生物・水産資源学的研究(ODP)	56
KH-96-4	10.17~11.27	42	日本南方・東方海域	横浜 11.10~11.16	川辺 正樹	東京大学海洋研究所	黒潮の水塊と力学特性及び日本東方海域での深層流の研究(WESTPAC)	36
KH-96-5	12.19~97.2.18	62	東部インド洋・南大洋	フリーマントル 1.5~1.11 ペナン 2.3~2.7	蒲生 俊敬	東京大学海洋研究所	インド洋及びその近接海域におけるオーシャンフラックスに係わる地球化学過程の研究	43
<b>● 1997年度</b>								
KH-97-1	1997.5.16~6.18	34	黒潮続流、黒潮・親潮混合域、遠州灘、鹿島灘	塩釜 5.29~6.5	杉本 隆成	東京大学海洋研究所	小型浮魚類の加入量変動機構に関する研究(GLOBEC)	42
KH-97-2	7.9~9.8	62	北部北太平洋	コディアック 8.1~8.5 バンクーバー 8.16~8.22	川口 弘一 小池 勲夫	東京大学海洋研究所	北部北太平洋における生物群集・生産と物質循環に関する研究	40
KH-97-3	10.24~11.11	19	本州東方海域、三陸沖暖水塊		杉本 隆成	東京大学海洋研究所	黒潮親潮混合域の生物生産環境に関する研究(GLOBEC)	33
KH-98-1	1998.1.16~3.16	60	マリアナ海嶺・マリアナ海盆、オントンジャワ海台、北ソロモン海溝周辺海域	ケアンズ 2.3~2.9 ボンベイ 2.27~3.2	平 朝彦	東京大学海洋研究所	ソロモン・マリアナ海域における海洋地殻構造と物質循環に関する研究(ODP)	52

航海番号	航海日程	日数	研究海域	寄港地・寄港期間	主席研究員	所 属	研究 主 題	研究者数
<b>● 1998年度</b>								
KH-98-2	1998.5.22~7.2	42	マリアナ諸島周辺海域	アブラ 6.2~6.8	塚本 勝巳	東京大学海洋研究所	マリアナ諸島周辺海域におけるウナギの産卵・回遊と海洋微生物群集に関する研究	51
KH-98-3	7.15~8.14	31	西部北太平洋、オホーツク海・及び日本海	小樽 7.29~8.14	野崎 義行	東京大学海洋研究所	西部北太平洋・オホーツク海・日本海における海洋物質循環ダイナミクスに関する研究	42
KH-98-4	9.7~10.28	52	西部北太平洋(親潮水域、移行域及び黒潮水域)	塩釜 9.21~9.25 釜石 10.12~10.16	川口 弘一 杉本 隆成	東京大学海洋研究所	西部北太平洋における生態系の鉛直構造、生物生産及び物質輸送に関する研究(GLOBEC, JGOFS)	44
KH-99-1	1999.1.14~3.4	50	西部北太平洋熱帯・亜熱帯域	ボンベイ 1.27~1.30 アブラ 2.17~2.22	川辺 正樹	東京大学海洋研究所	北太平洋低緯度域における深層西岸境界流と表層・中層海洋循環の研究	33
<b>● 1999年度</b>								
KH-99-2	1999.5.18~6.10	24	黒潮統流域、黒潮・親潮混合域	塩釜 5.26~5.30	杉本 隆成	東京大学海洋研究所	黒潮親潮混合域の低次生産環境と生物資源変動機構に関する研究(GLOBEC)	39
KH-99-3	6.25~8.25	62	北部北太平洋・ベーリング海	コディアック 7.11~7.14 シアトル 7.22~7.29	小池 勲夫 徳山 英一	東京大学海洋研究所	北部北太平洋・ベーリング海における生元素循環と海洋地質学・地球物理学的研究(JGOFS, ODP)	52
KH-99-4	9.21~10.25	35	日本海	新潟 10.7~10.12	寺崎 誠	東京大学海洋研究所	日本海の生物生産に関する総合的研究(NEAR-GOOS)	48
KH-00-1	2000.1.14~3.10	57	西部北太平洋・南太平洋・スルー海	プリズベン 2.1~2.6 セブ 2.29~3.4	大和田紘一	東京大学海洋研究所	西部太平洋における海洋生物群集の生態ならびに多様性に関する研究	46
<b>● 2000年度</b>								
KH-00-2	2000.5.19~6.6	19	黒潮統流及びビシャッキーライズ周辺域		小松 輝久	東京大学海洋研究所	黒潮統流及びビシャッキーライズ周辺域における生物分布とその生息環境	23
KH-00-3	6.20~7.27	38	ハワイ以西の北太平洋(主 中緯度海域)	ホノルル 7.5~7.11	野崎 義行	東京大学海洋研究所	北太平洋の物質循環ダイナミクスとオーシャンフラックスに関する研究	35
KH-00-4	9.5~10.19	45	伊豆諸島・伊豆海嶺東方・四国沖・東シナ海	那覇 9.23~9.29	平 啓介	東京大学海洋研究所	東シナ海の海況変動と本州東方の深層循環の観測研究	50
KH-00-5	11.21~1.2.8	80	インド洋	ベナン 11.30~12.4 アデン 12.21~12.25 チェンナイ 1.12~1.17	徳山 英一	東京大学海洋研究所	インド洋およびその近海海域における海底拡大活動と古環境に関する地球科学的研究	40
<b>● 2001年度</b>								
KH-01-1	2001.6.18~7.27	40	マリアナ諸島周辺海域	鹿児島 7.6~7.12	平 啓介 塚本 勝巳	東京大学海洋研究所	マリアナ海溝の海水流動と人工湧昇およびウナギの産卵生態と生物多様性に関する研究(新プロ DOBIS 航海)	59
KH-01-2	8.20~10.5	47	熊野海盆・三陸沖・千島海溝・日本海	函館 9.7~9.14	徳山 英一 太田 秀	東京大学海洋研究所	日本海溝の地震発生帯、千島海溝周辺の深海底生生物および熊野海盆・日本海海底堆積物の運搬過程に関する研究	44
KH-01-3	11.27~2.3.1	95	南太平洋・南極海	ウエリントン 12.27~1.2 パート 1.22~1.27 シドニー 2.12~2.16	寺崎 誠	東京大学海洋研究所	中部南太平洋・南大洋の生物活動と生元素の循環に関する研究およびオーストラリア~南極海嶺の地球物理学的研究	55
<b>● 2002年度</b>								
KH-02-1	2002.5.7~6.24	49	東シナ海・沖縄トラフ	那覇 5.22~5.25 那覇 6.5~6.10 那覇 6.21	杉本 隆成 渡邊 良朗	東京大学海洋研究所	東シナ海における流動と魚類の生態に関する研究および沖縄トラフ西端部における背弧リフトの地球科学的研究	77
KH-02-2	7.5~8.15	42	マリアナ諸島西方海域	コロール 7.26~8.1	塚本 勝巳	東京大学海洋研究所	ウナギの産卵・回遊生態と海洋生物多様性に関する研究(新プロ DOBIS 航海)	41
KH-02-3	9.9~10.25	47	日本南方海域・東シナ海・日本海	鹿児島 9.22~9.26 博多 10.10~10.14	川辺 正樹	東京大学海洋研究所	黒潮と東シナ海・日本海の海水と流動の研究および四国南方沖における深海底生生物の生態学的研究	64
KH-02-4	11.7~12.18	42	太平洋、セレベス海、スルー海、南シナ海	セブ 11.26~12.2	西田 周平	東京大学海洋研究所	スルー海および周辺海域の生物多様性と物質循環	41
<b>● 2003年度</b>								
KH-03-1	2003.5.13~9.8	119	中部・東部太平洋	ヒロ 5.29~6.1 ホノルル 6.20~6.25 カヤオ 7.19~7.24 パペーテ 8.11~8.16	川辺 正樹 佐野 有司 M. F. Coffin	東京大学海洋研究所	太平洋の海洋長期変動、化学フラックスおよび海台の成因に関する総合的研究	68
KH-03-2	9.30~10.17	18	西部北太平洋		小池 勲夫	東京大学海洋研究所	西部北太平洋における生元素循環と生物活動に関する研究(新プロ DOBIS)	31
KH-03-3	11.11~11.28	18	南部フィリピン海		石井 輝秋	東京大学海洋研究所	フィリピン海南部における地質・地球物理学的研究	34

航海番号	航海日程	日数	研究海域	寄港地・寄港期間	首席研究員	所 属	研究主題	研究数
KH-04-1	2004.3.4~3.22	19	日本南方および東シナ海の黒潮周辺域	鹿児島 3.13~3.14	杉本 隆成	東京大学海洋研究所	黒潮流域における低次生産と物質輸送過程に関する研究	31

●2004年度

KH-04-2	2004.5.13~7.6	55	中西部太平洋, 北西部太平洋	アブラ 5.25~5.27 アブラ 6.3~6.10	塚本 勝巳	東京大学海洋研究所	マリアナ・中西部太平洋におけるウナギの産卵回遊生態に関する研究, フィリピン海の海洋循環に関する古生物学的研究および自律型海中ロボットによるマリアナトラフ熱水地帯観測研究 (DOBIS航海)	61
KH-04-3	7.13~8.27	46	北西部太平洋	釧路 8.5~8.9	津田 敦	東京大学海洋研究所	西部亜熱帯太平洋における鉄濃度調節に対する生物地球化学的応答の研究	41
KH-04-4	9.7~11.15	70	西部北太平洋	アブラ 9.28~10.3 東京 10.28~11.3	川辺 正樹	東京大学海洋研究所	西部北太平洋亜熱帯域の深層循環流に関する海洋物理学的研究および西太平洋海底の地球物理学的研究	43
KH-04-5	11.29~5.3.22	114	南大洋, 太平洋	ホバート 12.14~12.18 オーランド 1.15~1.20 スバ 2.11~2.16 ボンベイ 3.11~3.15	蒲生 俊敬 佐野 有司 木暮 一啓	東京大学海洋研究所	南太平洋における微量元素マッピング及び生物地理に関する総合研究 (GEOTRACES およびDOBIS)	76

●2005年度

試験・訓練	2005.5.1~5.6		南西諸島海域, 九州南方太平洋		稲垣 正	東京大学海洋研究所	海洋観察に関する技術手法の確立	15
KH-05-1	5.10~7.31	83	マリアナ・中西部太平洋・フィリピン海・琉球	那覇 5.26~5.29 アブラ 6.13~6.15 アブラ 6.27~6.30 アブラ 7.15~7.17	塚本 勝巳 太田 秀 沖野 郷子	東京大学海洋研究所	琉球海溝付近・沖繩背弧海盆の深海底生生物群集の生態学的・系統分類学研究および表層堆積物の圧縮成過程の研究/マリアナ・中西部太平洋におけるウナギの産卵回遊生態に関する研究/フィリピン海南部の構造とテクトニクスに関する研究	50
KH-05-2	8.8~9.21	45	中部北太平洋	ホノルル 8.29~9.2	小池 勲夫	東京大学海洋研究所	中部北太平洋における生物地球化学的プロセスの南北断面観測	40
KH-05-3	9.27~11.14	49	日本海溝・千島海溝周辺海域	塩釜 10.5~10.6 塩釜 10.17~10.22	藤本 博己	東北大学大学院理学研究科	日本海溝・千島海溝域における海洋底沈み込み過程に関する測地・地球物理学的研究	27
KH-05-4	11.17~12.28	42	北西太平洋	塩釜 12.11~12.15	川辺 正樹	東京大学海洋研究所	北西太平洋亜熱帯域の海洋循環と水塊の研究	28
KH-06-1	2006.1.11~3.17	66	北西太平洋 (黒潮統流域及び南側再循環流域)	東京 1.27~1.30 東京 2.18~2.21	安田 一郎	東京大学海洋研究所	黒潮統流域・再循環域における水塊形成変動・生物生産・大気海洋相互作用・テクトニクスの研究	46

●2006年度

試験・訓練	2006.5.11~5.16	6	下関沖, 四国沖, 熊野灘, 駿河湾		稲垣 正	東京大学海洋研究所	海洋観察に関する技術手法の確立	
KH-06-2	6.2~9.5	96	マリアナ・中西部太平洋・北西太平洋・シャツキー海台・フィリピン海・琉球	鹿児島 6.13~6.14 那覇 6.23~6.26 アブラ 7.12~7.15 アブラ 7.27~7.30 アブラ 8.12~8.15	塚本 勝巳 植松 光夫 大竹 二雄 小松 輝久	東京大学海洋研究所	西部北太平洋における大気・海洋間の生物地球化学的相互作用と仔稚魚の輸送環境, 表層生態系ならびにウナギの産卵回遊生態に関する研究	105
KH-06-3	9.14~10.23	40	茨城沖・宮城沖・南海トラフ・奄美海台~四国海盆北西部	横浜 9.25~9.29 横浜 10.21~10.23	芦 寿一郎	東京大学海洋研究所	南海トラフ活断層, 茨城沖・宮城沖プレート境界, 北太平洋古海洋に関する地質・地球物理学的研究 (IODP)	36
KH-06-4	11.2~7.3.7	126	インド洋・東地中海	ポートルイス 11.23~11.26 ポートルイス 12.4~12.7 ポートルイス 12.23~12.26 ポートルイス 1.5~1.7 ピレウス 1.21~1.26 ピレウス 2.5~2.8 横浜 3.5~3.7	青山 潤 玉木 賢策 徳山 英一	東京大学海洋研究所 東京大学工学系研究科 東京大学海洋研究所	インド洋におけるウナギ属魚類 <i>Anguilla</i> spp. の産卵・回遊生態の解明 インド洋中央海嶺口ドリゲスセグメント地球科学総合探査 現行テクトニクスが支配する東地中海の地質学的・生物学的研究	90

●2007年度

KH-07-1	2007.4.3~6.8	67	親潮域, 北西太平洋	函館 5.4~5.9	池田 勉 川辺 正樹	北海道大学大学院水産科学研究院 東京大学海洋研究所	親潮周辺海域の低次生物生産過程の高精度解析 西部北太平洋における水塊の形成・輸送・変質過程の研究	57
試験・訓練	7.20~7.27	8	熊野灘, 四国沖, 伊豆小笠原海溝		蒲生 俊敬	東京大学海洋研究所	海洋観察に関する技術手法の確立	25
KH-07-2	8.3~10.1	60	中西部太平洋, 北西太平洋	アブラ 8.19~8.21 アブラ 8.29~9.1 アブラ 9.15~9.18	塚本 勝巳 小原 泰彦 塚本 勝巳 石塚 治	東京大学海洋研究所 海上保安庁海洋情報部 東京大学海洋研究所 産業技術総合研究所	ウナギ <i>Anguilla japonica</i> の産卵生態の全貌解明/パレスペラ海盆の海洋コアコンプレックスから探る背弧海盆リソスフェアの組成と構造の解明	67

航海番号	航海日程	日数	研究海域	寄港地・寄港期間	首席研究員	所 属	研究主題	研究者数
KH-07-3	10.12~11.21	41	三陸沖日本海溝	塩釜 10.23~10.27 塩釜 11.9~11.10	藤本 博己 日野 亮太	東北大学大学院理学研究科 東北大学大学院理学研究科	日本海溝近傍における沈み込み過程の研究	38
KH-07-4	12.13~8.3.14	93	インド洋, 南極海インド洋区	ポートルイス 1.3~1.6 ケープタウン 1.27~1.31 フリーマントル 2.26~3.1	篠原 雅尚 原田 哲夫 島 伸和 野木 義史	高知大学教育学部 神戸大学内海域環境教育研究センター 国立極地研究所	ウミアメンボ <i>Halobates micans</i> の3大洋間分布比較および環境応答性における地理的変異についての生理・生態学的研究/マントルの組成の違いに対応した中央海嶺拡大様式の変化の研究/南大洋の環境変動に関する総合研究	41

●2008年度

試験・訓練	2008.5.9~5.15	7	熊野灘, 八丈島北東沖, 房総沖		稲垣 正	東京大学海洋研究所	海洋観測に関する技術手法の確立	11
KH-08-01	5.21~7.14	55	フィリピン海	那覇 6.15~6.19	塚本 勝巳	東京大学海洋研究所	ニホンウナギの回遊と産卵に関する研究	35
KH-08-02	7.29~9.15	49	西部北太平洋	釧路 8.19~8.23	植松 光夫 小川 浩史	東京大学海洋研究所	西部北太平洋における大気と海洋の物質循環・生態系の相互作用 (SOLAS/IMBER航海)	59
KH-08-03	9.24~11.7	45	日本南方・東方海域	塩釜 10.6~10.9	川辺 正樹 望月 公廣	東京大学海洋研究所 東京大学地震研究所	日本東方海域における水塊の形成・輸送・変質過程の研究及び房総沖における海洋プレート沈み込みに関する地質学的研究	46

●2009年度

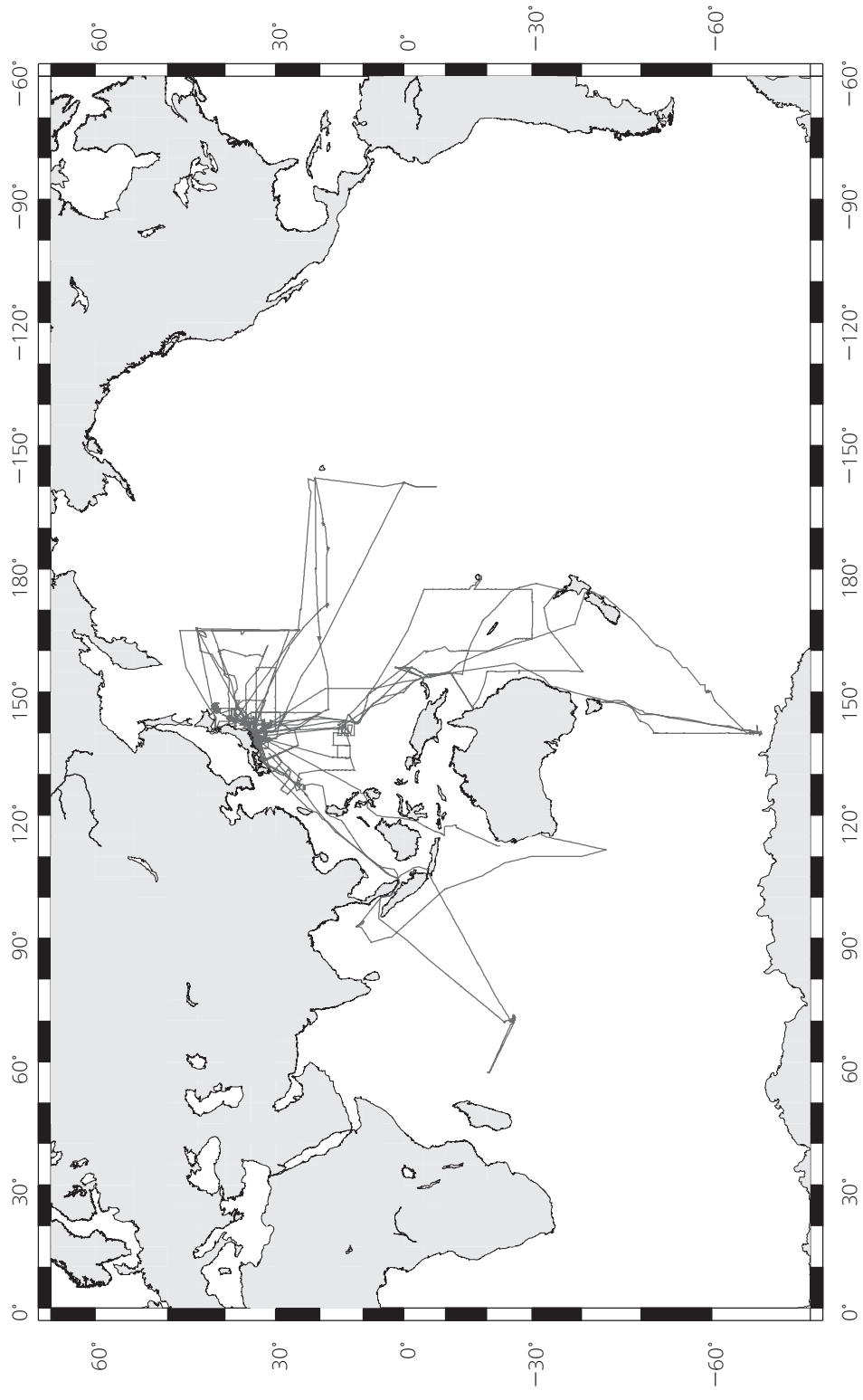
試験・訓練	2009.7.16~7.22	7	熊野灘, 八丈島北東沖, 房総沖		今井 圭理	東京大学海洋研究所	海洋観測に関する技術手法の確立	17
KH-09-01	4.15~5.5	21	フィリピン海		塚本 勝巳	東京大学海洋研究所	ニホンウナギの回遊と産卵に関する研究	31
KH-09-02	5.14~6.3	21	フィリピン海		塚本 勝巳	東京大学海洋研究所	ニホンウナギの回遊と産卵に関する研究	30
KH-09-03	7.27~8.6	11	房総沖		篠原 雅尚	東京大学地震研究所	房総沖~大島・三宅島近海域における海洋プレートの沈み込みに関する地質学的研究	18
KH-09-04	8.12~9.25	45	北太平洋亜寒帯, アリューシャン・ベーリング海域		安田 一郎	東京大学海洋研究所	アリューシャン列島付近の潮汐混合の実測と強混合域での水塊変質・生態系の研究	36
KH-09-05	11.6~10.3.29	144	インド洋, 南極海, セレベス海	コーチン 11.24~11.27 ポートルイス 12.16~12.19 ケープタウン 1.10~1.14 ポートルイス 1.26~1.2	蒲生 俊敬 小畑 元 蒲生 俊敬 沖野 郷子	東京大学海洋研究所 東京大学海洋研究所	インド洋の微量元素・同位体分布の生物地球化学的縦断観測	53
				ポートルイス 2.10~2.14	大竹 二雄	東京大学海洋研究所	マントルの組成の違いに対応した拡大様式の変化の研究: 南西インド洋海嶺 26-39° E	15
				ポートルイス 2.10~2.14	大竹 二雄	東京大学海洋研究所	インド洋におけるウナギ属魚類 <i>Anguilla</i> spp. の産卵・回遊生態の解明	29
				ペノア 2.25~3.1 ビトン 3.20~3.23	青山 潤	東京大学海洋研究所	スラウェシ島種変海域における熱帯ウナギの産卵場の特定と回遊行動の追跡	29

●2010年度

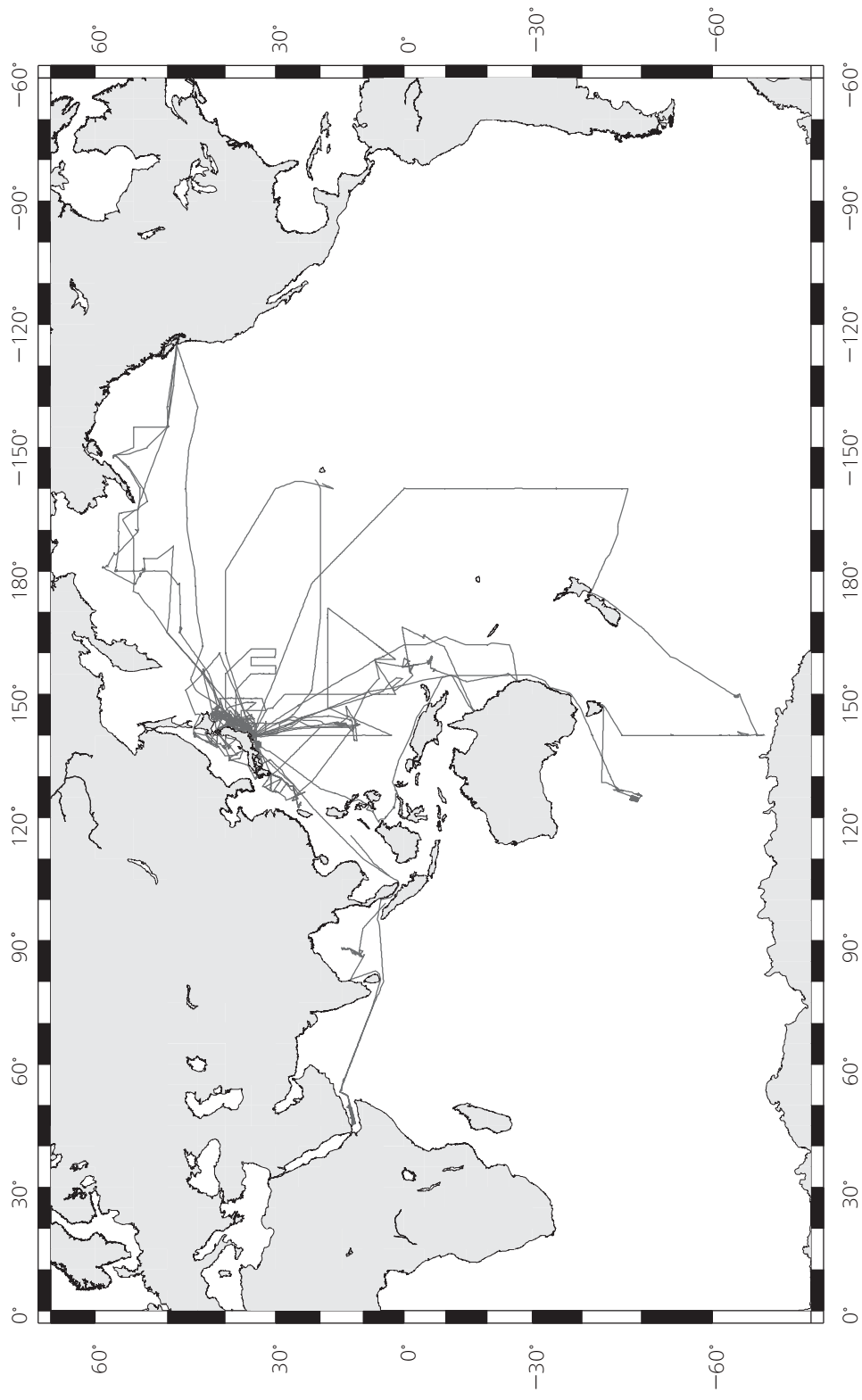
試験・訓練	2010.5.9~5.15	7	熊野灘, 八丈島北東沖, 房総沖, 駿河湾, 伊豆・小笠原海溝		稲垣 正	東京大学大気海洋研究所	海洋観測に関する技術手法の確立	21
KH-10-1	5.18~6.4	18	西部太平洋		津田 敦	東京大学大気海洋研究所	熱帯・亜熱帯太平洋におけるエアロゾル, 微量金属, 海洋生物の生物地球化学的相互作用の研究および海洋における漂流プラスチック由来の化学物質汚染の調査・研究	34
KH-10-2	6.11~7.23	43	西部太平洋	函館 6.19~21 博多 7.14~17 横浜 7.23	張 勁	富山大学大学院工学研究部	日本近海における微量元素・同位体分布の生物地球化学的縦断観測 (極東・アジア GEOTRACES 計画)	52
KH-10-3	7.29~8.25	28	相模・房総, 南海トラフ	横浜 7.29 横浜 8.25	芦 寿一郎	東京大学大気海洋研究所	IODP地震発生帯掘削孔周辺での地球科学総合観測	24
KH-10-4	9.1~10.15	43	中部太平洋, マニヒキ海台, 赤道周辺海域	ホノルル 9.14~9.18 横浜 10.15	中村 恭之 原田 哲夫	東京大学大気海洋研究所 高知大学教育学部	太平洋におけるウミアメンボの生態, 海洋有殻プランクトンの多様性, 海洋変動および海台の成因に関する研究	18

航海番号	航海日程	日数	研究海域	寄港地・寄港期間	首席研究員	所 属	研究主題	研究者
KH-10-5	10.21~11.19	30	スマトラ北西沖, インド洋	横浜 10.21 シンガポール 10.29~10.30 パダン 11.8 ポートルイス 11.19	平田 賢治	気象研究所	巨大津波の発生様式と発生履歴を探る:スマトラ北西沖外苑隆起帯の総合的調査/外洋棲ウミアメンボの分布及び環境応答性に果たす海象・気象動態の役割についての生理・生態学的研究	13
KH-10-6	11.23~12.13	21	インド洋	ポートルイス 11.23 ポートルイス 12.13	沖野 郷子	東京大学大気海洋研究所	インド洋海底熱水系の総合調査	32
KH-10-7	12.17~11.1.17	32	インド洋, 南極海インド洋区	ポートルイス 12.17 フリーマントル 1.17	野木 義史	国立極地研究所	複合分野による南極海インド洋区の総合調査	22
KH-11-1	2011.1.21~2.9	20	オーストラリア西岸域, ティモール海	フリーマントル 1.21 ポर्टダーウィン 1.30~1.31 清水 2.9	横山 祐典	東京大学大気海洋研究所	インドネシア多島海およびティモール海における海水準・古海洋研究	15
KH-11-2	2.11~2.18	8	茨城~房総沖	清水 2.11	望月 公廣	東京大学地震研究所	茨城沖に沈みこんだ海山の構造と周辺の詳細な地震活動	14
KH-11-3	2.25~3.23	27	黒潮統流域, 伊豆海嶺近傍域	晴海 3.11~3.13 (3.14~3.23震災のため中止)	安田 一郎 豊田 邦夫	東京大学大気海洋研究所 東海大学海洋学部	黒潮統流域における浮魚仔稚の輸送環境および大気海洋双方向作用の解明	25
●2011年度								
試験・訓練	2011.5.7~5.13	7	熊野灘, 八丈島北東沖, 房総沖, 駿河湾, 伊豆・小笠原海溝		田中 隆	海洋研究開発機構	海洋観測に関する技術手法の確立	31
KH-11-4	5.20~6.5	17	マリアナ・フィリピン海域		塚本 勝巳	東京大学大気海洋研究所	二ホンウナギの産卵場形成と資源変動メカニズムの解明	27
KH-11-5	6.7~6.21	15	伊豆, 小笠原諸島海域		飯笹 幸吉	東京大学大学院新領域創成科学研究科	小笠原火山弧中軸部の精密地形マッピングに基づく島弧リフトプロセスの研究と熱水鉱床ポテンシャル評価	28
KH-11-7	7.16~8.4	20	西部北太平洋, 福島, 三陸沖		張 勁	富山大学大学院理工学研究部	西部北太平洋における微量元素・同位体分布の生物地球化学的研究:極東・アジアGEOTRACES計画II(震災対応)	31
KH-11-8	8.12~10.4	54	北太平洋北方海域	サンフランシスコ 9.5~9.8	川辺 正樹	東京大学大気海洋研究所	太平洋海洋循環の深層オーバーターンと表層サブダクションの研究	27
KH-11-9	10.14~11.23	41	南海トラフ, 東北沖日本海溝, 日本海東縁上越海盆	台場ライナー埠頭 10.14 晴海 11.2~11.5 台場ライナー埠頭 11.23	松本 良 日野 亮太 芦 寿一郎	東京大学大学院理学系研究科 東北大学大学院理学研究科 東京大学大気海洋研究所	南海トラフ, 日本海溝, 日本海東縁における活断層・地震・地殻変動・メタンハイドレード・底生生物の地質・地球物理・生物学的研究	46
KH-11-10	12.1~12.1.25	56	南北熱帯・亜熱帯太平洋	ホノルル 12.21~12.24 カヤオ 1.25	古谷 研 津田 敦	東京大学大学院農学生命科学研究所 東京大学大気海洋研究所	太平洋熱帯・亜熱帯海域におけるプランクトン群集動態および生物地球化学過程に関する研究	40
KH-12-1	2012.1.29~3.5	37	太平洋赤道海域, 特に東部海域	カヤオ 1.29 ホノルル 2.20~2.23	植松 光夫	東京大学大気海洋研究所	太平洋赤道高生物生産海域における大気海洋間の物質循環と成層圏とのリンゲージおよびウミアメンボの生理・生態学的研究	28

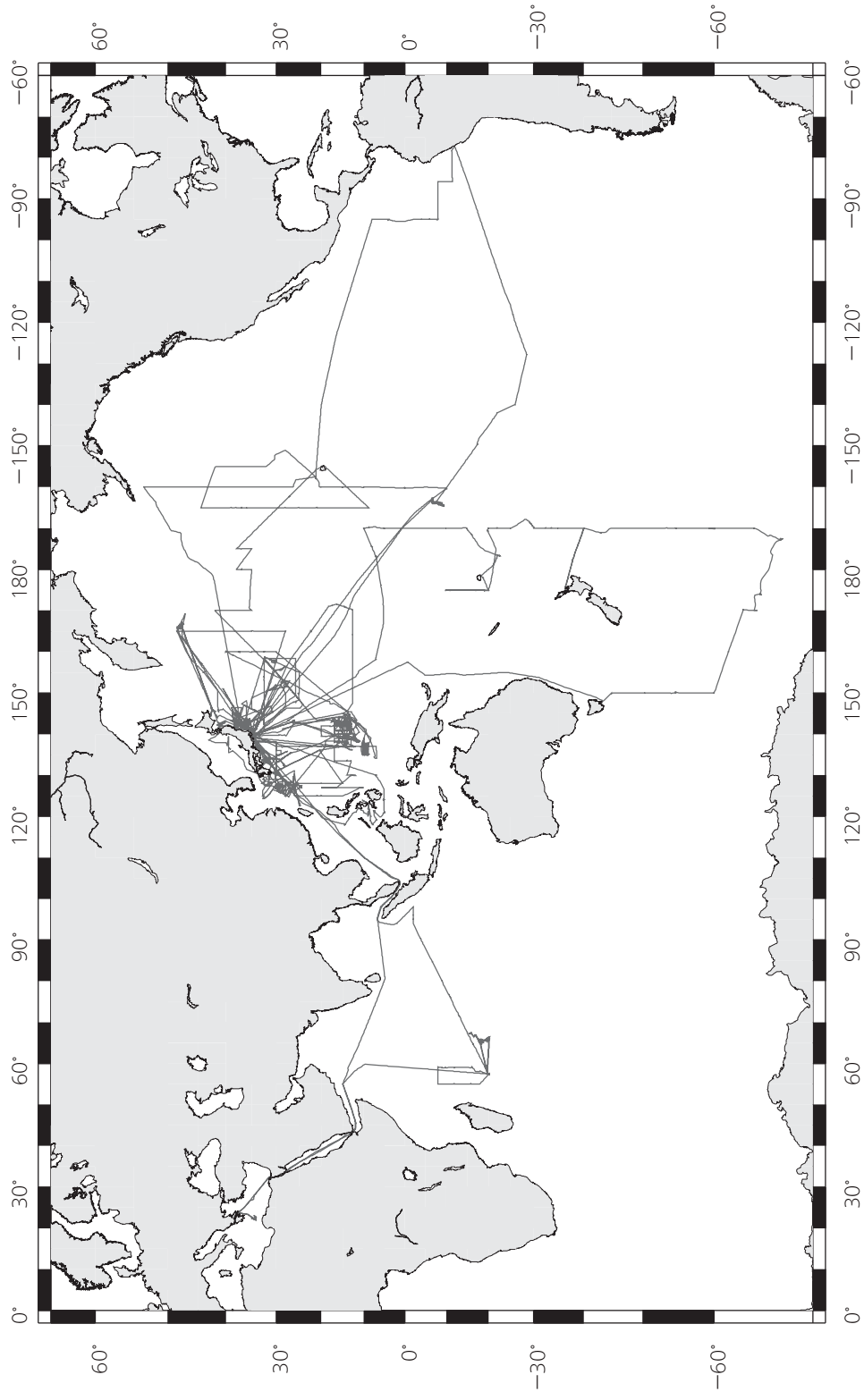
白鳳丸航跡図 [1992～1996年度]



白鳳丸航跡図 [1997～2001年度]



白鳳丸航跡図 [2002～2006年度]





白鳳丸航跡図 [2007～2011年度]

